

## 事業別バランスシートの対象事業の考え方について

- 1 目的 事業実施や施設建設・運営のうち、特に民間との比較を要するものについて、行政の投入するトータルコストを明確化することで、コスト管理の徹底につなげるため、事業別・施設別バランスシート等を導入する。
- 2 事業別バランスシート等の活用範囲
  - ① 平成19年度当初予算編成への活用に向け作成を予定している事業例
    - はまゆう図書館（一冊当たりの貸し出しコストの計算等）
    - 住民票等（自動交付機導入に向け、一通当たりの発行コストの計算等）
    - 学校給食民間委託（アウトソーシングのコスト計算）
    - 新規の指定管理者制度適用施設（直営と民間のコスト比較）
  - ② 今後、新規事業の計画段階において政策判断材料として活用を見込む事業例
    - 清掃事業、内部管理事務などのアウトソーシング
    - 保育園、宿泊事業等の民営化 ○大型イベント、電算システム導入など
  - ③ システム導入後、バランスシート等の活用が見込める事業例  
 （大規模事業、投資的事業、費用徴収事業などのうちコスト管理が重要な事業）
    - 公営住宅事業 ○区画整理事業 ○再開発事業 ○土地改良事業
    - 駐車場事業 ○徴税コスト ○情報化コスト
    - 救急業務コスト○塵芥処理コスト ○リサイクル事業コスト
    - 食肉検査コスト○学校給食コスト ○保育所・診療所・墓園等の運営
    - 東京都の分類例なども参考に事業を選択。
      - ・「収支均衡型」・・・多摩ニュータウン開発事業
      - ・「税金投入型」・・・巨大ハコモノ文化事業
      - ・「中間形態型」・・・住宅事業、新交通システム、救急業務
- 3 施設別バランスシート等について
  - ① 新規施設については、プロセスマネジメントサイクルの一環として、規模・新築の是非・施設の統廃合などの判断材料として活用。
    - 文化施設 ○スポーツ施設 ○生涯学習施設 ○公営住宅 ○庁舎など
  - ② 既存施設は、管理経費の削減、統廃合、使用料改定の検討資料として活用。

## 4 政策評価とのリンク

計画・評価体系	政策の柱	基本政策	政策	事業
予算体系	款 ・ 項		目	事業
組織体系		部	課	グループ

- 原則的に目ごとに人件費を計上。目レベルでバランスシート等の作成可。
- 目の人件費の按分などにより事業別バランスシートを作成。
- 間接経費については、統一的で簡便な手法を検討。